



▲まちづくり交付金を活用し、毘沙門天の由来などを記した看板を制作。山根自治会の皆さんが自分たちの手で設置しました



▲市役所1階子ども家庭課窓口で専門の相談員「子育てコーディネーター」を配置。ワンストップで子育て不安の解消を図ります



地域に貢献したいと活動されている団体を支援します。ご相談ください。

●対象団体 (①～④すべてに該当)

- ①恒常的にコミュニティ活動に貢献が期待できる団体
- ②営利や宗教・政治活動を目的としない団体
- ③構成員5人以上を有する市内の小規模な団体
- ④上部組織の傘下でない、組織されて5年未満の団体

※設立5年以上でも、新たな事業に取り組む場合は、対象となる場合があります。

●補助期間 原則3年以内

●補助金額 対象事業費の2分の1以内 (限度額10万円)

●事業例

- ①地域行事などに参加するため、楽器や衣装などを購入
- ②地域の緑化活動を行うため、種苗や肥料、清掃用具などを購入

☎生涯学習課 ☎22-1343

市民活動の支援は、登別市・海老名市・ハーストビル市との姉妹都市交流、札幌市白石区との友好交流がさらに発展するよう、白石市姉妹友好都市交流協会、白石市国際交流協会と連携し、次世代を担う青少年のスポーツ・文化活動の親善交流や国際感覚豊かな青少年を育成する事業を行います。

その中でも本年度は、友好都市である札幌市白石区との交流が40年の節目を迎えます。市民

Target3  
市民が主役になって地域をつくり  
交流を楽しむまち

団訪問などによる相互交流を深め、さらなる親善交流に発展するよう努めます。また、台湾新竹市との交流を継続し、交流人口の拡大に努めます。

さらに、「やる気応援事業（地域コミュニティ育成支援事業）」を継続し、市民団体の活動を支援します。

地域コミュニティの活性化は、4年目となる「まちづくり交付金」を活用した、市民が主役の地域づくりを促進します。

●まちづくり交付金事業 (事業費：566万7千円)

第5次白石市総合計画地域計画で掲げた「まちづくり宣言」の実現に向けて、地域の伝統文化や資源を活かした地域活性化、地域コミュニティの活性化が図られる事業を行う地域づくり団体などに、事業に要する経費を交付し、地域のコミュニティ活動を支援します。

☎生涯学習課 ☎22-1343

Target2

安心して子どもを産み育て  
心やすらかに暮らせるまち

子育て支援では「赤ちゃん応援事業」として、14回の妊婦検診の費用を助成する「妊婦健康診査費助成事業」を継続。また、最長5年間、不妊治療の医療費の一部として年10万円を上限に助成する「特定不妊治療費助成事業」を継続するとともに、妊娠を希望する女性と配偶者などに対し、「風しん予防のための予防接種費用助成事業」を継続します。

また、「子ども医療費助成事業」は、平成26年10月から通院・入院とも医療費助成対象者を中学3年生まで拡大しています。が、本年度から所得制限を撤廃し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

加えて、保育園保育料の算定において、国の制度上未婚のひとり親家庭には適用されない「寡婦（夫）控除」のみなし適用を実施し、経済的負担の軽減を図ります。

さらに、子育て中の保護者からの子育て支援施設利用や子育てに関する相談に対し、個別ニーズに寄り添い、必要な情報や

的確なアドバイスを迅速に提供するため、市役所1階子ども家庭課窓口で専門の相談員「子育て支援コーディネーター」を配置し、ワンストップで子育て不安の解消を図ります。

高齢者支援では、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、在宅医療と介護の連携や認知症施策、日常生活支援に係る多様なサービスの創出や団体の育成に努めるとともに、市民による自主的な介護予防教室など、「通いの場」づくりへの支援などを推進します。

障がい者支援は、障害者総合支援法の理念に基づき、地域社会における共生の実現に向けて「第2期白石市障害者計画」「第4期白石市障害福祉計画」を踏まえ、障害福祉サービスの充実を図るとともに、聴覚障害者などの意思疎通や交流促進などを支援する手話奉仕員の養成など、障がい者の日常生活や社会生活を総合的に支援します。

地域医療の確立と健康づくり

●子ども医療費助成費 (事業費：1億1,405万1千円)

子育て世代における経済的負担の軽減や子どもを産み育てやすい環境づくりを進めるため、県の助成対象に上乘せして段階的に子ども医療費助成の対象者を拡大。中学校卒業相当までの通院・入院に係る医療費の自己負担分を助成してきました。本年度からは、所得制限を撤廃（受給者証の更新日である10月1日を予定）。すべての子どもが同じように医療受診できる助成制度にします。

支援では、市民の健康を守るため、公立刈田総合病院の経営健全化を支援するとともに、白石市医師会・白石歯科医師会と連携した地域医療体制の構築を図ります。

また「国民健康保険事業」は、国民皆保険の中核を担う医療保険制度として、市民の医療の確保に努めるとともに、特定健診、保健事業などを実施し、被保険者の健康保持・増進に努めます。